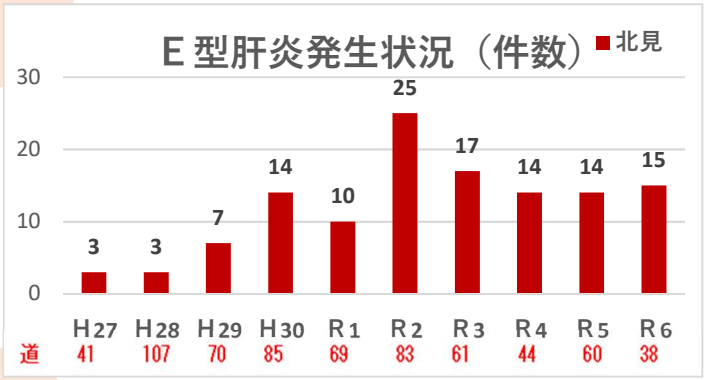
E型肝炎が増加しています！！

北海道

食肉を介したE型肝炎の感染に注意しましょう。

1　管内におけるE型肝炎感染事例の発生状況



※R6年7月末時点
（年集計）
感染症情報センター統計

北海道全体のE型肝炎発症数は減少傾向にありますが、**北見保健所管内は増加傾向**にあります。
R6年7月末時点で、すでに**昨年を上回る15件**の発生があります。

2　E型肝炎ウイルスとは？

感染すると急性肝炎（倦怠感、発熱、黄疸等）を引き起こします。症状が出ないことが多いですが、高齢者や妊婦の場合は重症化する可能性もあります。

主な感染経路は経口感染で、潜伏期間は２～９週間です。豚やシカ、イノシシなどはウイルスを保有していることがあり、加熱不十分なこれらの肉を食べることにより感染したと考えられる事例があります。

北見地域は「焼き肉の街、北見」と言われていることから、管内では他地域より焼肉の機会が多いので気を付けましょう。

3　E型肝炎の予防のために

豚肉などは、中までしっかり加熱！

豚肉は、レバーなど内臓肉も含めて生食が禁止されています。これはE型肝炎ウイルスだけでなく、サルモネラなどの細菌や寄生虫による食中毒の危険があるためです。必ず、中心部まで十分に加熱して食べましょう。

生のレバーや肉が触れたトング・箸等で、その他の料理に触れない！

生レバーなどの内臓や肉が触れたところには、病原体が付く可能性があります。
焼く前のレバーや肉には、専用のトングや箸、皿を使いましょう。
また、焼き上がった肉や野菜など、直接触れないようにしましょう。

しっかり手洗い、調理器具はしっかり洗浄・消毒！

生肉を調理した包丁やまな板などの器具、容器などはよく洗いましょう。
また、生肉などに直接触れた後には、調理前に必ずよく手洗いをしましょう。

連絡先　北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室（北海道北見保健所）
健康推進課/生活衛生課　　TEL　0157-24-4171　　FAX　0157-24-4199